

麦の生育と管理

令和2年1月号
北部振興局集落営農・農地活用第一班

12月～2月の寒候期予報（気象庁より）

- ① 平年と同様に曇りや雨または雪の日が多い見込み → 排水対策の徹底！
- ② 気温は平年並または高くなる見込み → 麦踏み、土入れの回数を増やす！

◎排水対策 ～雨が降っている時がチャンス～

額縁の四隅や排水口等を繋げ、ほ場の外に水を出しましょう。

この作業は雨の日がオススメです。滞水している場所が一目で確認できます。



◎麦踏みと土入れ



麦踏みと土入れは、麦作期間中の重要な作業です。

麦の生育状況や土の状態を見ながら、丁寧に・こまめに実施しましょう。

- ・ 麦踏みは、早播きしたときや、暖冬年で生育量が過剰の時は1～2回多く行って下さい。
- ・ 土入れも、生育過剰の際は回数を増やして下さい。

	作業時期	作業回数	注意事項
麦踏み	麦の3葉期 ～ 茎立期	3～4回	作業は土が乾き、ローラーに土が付かない時に実施。
土入れ	麦の4葉期 ～ 茎立期	2回	作業は土が乾いたときに実施。 1回目は土を薄くかける。

麦踏みと土入れの効果

麦踏み	土入れ
	
<ul style="list-style-type: none">・ 分げつ促進・ 茎立ちを遅らせる・ 穂揃い良化	<ul style="list-style-type: none">・ 倒伏防止・ 雑草・抑制・ 排水改善

裏面へ

◎肥培管理～分けつ肥で単収増加へ～

分けつ肥と穂肥では、目的が異なるので必ず分けて施肥しましょう。

分けつ肥の施肥基準（窒素成分）は2 kg/10aです。

適期は麦の3～4葉期頃です。

◎雑草対策

生育期除草剤は、雑草が大きくなる前に、タイミングを逃さず散布しましょう。雑草が繁茂すると収量や品質の低下を招きます。

下記の表に記載されている葉齢は最大葉齢です。雑草がその葉齢まで生育してしまう前に除草剤を散布しましょう。

生育期除草剤

	ハーモニー水和剤	アクチノール乳剤	バサグラン液剤
スズメノテッポウ	5葉期まで 注1)	×	×
カズノコグサ	3葉期まで	×	×
ヤエムグラ	4節期まで	4節期まで	6葉期まで
カラスノエンドウ	×	3葉期まで	6葉期まで
タデ類	生育初期のみ効果あり	生育初期のみ効果あり	生育初期のみ効果あり
使用時期	小麦1葉期～穂ばらみ期 (但し収穫45日前まで) 大麦1葉期～節間伸長前	穂ばらみ期まで	小麦収穫 45日前まで 大麦収穫 90日前まで
使用量	5～10 g /10a	100～200ml/10a	100～200ml/10a
使用回数	1回	2回以内	1回

注1) ハーモニー抵抗性スズメノテッポウには効果なし。

※薬剤ごとに使用時期、使用回数が異なります。ラベル等をよく読み使用しましょう。

散布直後の雨と

気温の上昇に注意！

散布直後に雨が降ると除草剤が効きにくくなります。また、気温が上昇する(気温20℃以上)と、薬害のリスクが高まります。

天気予報や土壌水分を確認して散布しましょう。



スズメノテッポウ
(5葉期頃)

ヤエムグラ
(4葉期頃)